

地域県土警察常任委員会資料

(令和8年2月25日)

ページ

- 県内路線バス等へのキャッシュレス決済導入について
【交通政策課】・・・2
- 第1回新幹線基本計画路線全国総決起大会の開催概要について
【交通政策課】・・・3
- 第7回鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議の開催結果について
【観光戦略課】・・・8
- 夏季ダイヤにおける米子ソウル国際定期便の運航等について
【国際観光課】・・・9
- 台湾での知事のトッププロモーション等について
【交流推進課】・・・10
- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【交通政策課】・・・12

輝く鳥取創造本部

県内路線バス等へのキャッシュレス決済導入について

令和8年2月25日
交通政策課

公共交通の利便性向上を目指し、県が中心となって進めてきた路線バス等へのキャッシュレス決済導入について、3月21日（土）から県下一斉に運用を開始します。併せて一人でも多くの皆様にご利用いただけるよう、広報・利用促進キャンペーンを実施します。

1 主な導入概要

(1) 導入台数・内容

県内全ての路線バス205台、空港連絡バス4台等に交通系IC「ICOCA（イコカ）」導入
※その他、一部の空港連絡バスに12月からクレジットタッチ決済を導入済

(2) 導入コスト

約6.3億円 ※バス事業者は国庫補助（1/3）を活用し、残る2/3を県と市町村で折半し支援。空港連絡バスについては国庫補助を除く2/3を県とバス事業者で折半。

(3) 運用開始日

令和8年3月21日（土）始発便～ ※同日セレモニー実施予定

(4) その他

- ・ICOCA以外の交通系IC（Suica、PASMO等）も利用可能
- ・当面は1乗車ごとの決済のみ可能とし、定期券や回数券についても今後IC化を実施予定
※引き続き現金支払も可能

2 広報・利用促進キャンペーン等

交通事業者や県内市町村と連携し、広報を展開しているほか、運用開始に合わせ、以下の利用促進キャンペーンを実施します。

① J R西日本「WESTER（ウェスター）ポイント（チャージ専用）」20%還元キャンペーン

3月21日～4月30日の間にICOCAで県内路線バスの運賃を支払うと、その翌々月に支払った運賃の20%相当をポイント還元

② ICOCAカード割引販売キャンペーン

通常2,000円（デポジット相当額500円含む。）で販売するICOCAカードを先着500名限定で1,500円にて販売

<参考>

【これまでの経過】

- ・R5.1 東部1市4町の首長等で構成する「鳥取県東部交通まちづくり活性化会議（会長：平井知事）」で「キャッシュレス化の検討・推進」について合意
- ・R5.2 県、県内19市町村、J R西日本山陰支社で締結した「鳥取県における持続可能な地域公共交通の実現及び地域の活性化に関する連携協定」で「キャッシュレス化の取組」について合意
- ・R7.4 県、県内19市町村、バス事業者等で「路線バスキャッシュレス化推進協議会」を設立し、導入経費支援や協議会員によるキャッシュレス決済の普及・利用促進策等について協議

【県内の交通系IC導入状況】

- ・H28.12 J R山陰本線（出雲市駅～伯耆大山駅間）に自動改札機等導入
J R伯備線（根雨駅、生山駅）に簡易型改札機導入
- ・H31.3 J R境線全線に車載型IC導入
- ・R5.4 鳥取市循環バス「くる梨」にIC導入
- ・R6.10 米子市循環バス「だんだんバス」にIC導入
- ・R7.3 J R山陰本線（鳥取駅～倉吉駅間）に自動改札機等導入
- ・R8.3 県内全ての路線バスにIC導入
（今回）

※未導入エリアへの導入加速について鉄道事業者（J R、智頭急行）に働きかけを行っている。

第1回新幹線基本計画路線全国総決起大会の開催概要について

令和8年2月25日
交通政策課

全国の新幹線基本計画路線関係者が一堂に会し、国に整備計画路線への早期格上げ等を求める第1回総決起大会を開催しました（大会終了後、国への要望活動も実施）。

1 大会の概要

(1) 概要

①日時：1月22日（木） 午前10時30分～12時00分

②会場：都市センターホテル（東京都千代田区平河町）

③主催等：〔発起人〕佐藤大分県知事（東九州新幹線鉄道建設促進期成会副会長）

〔主催〕山陰新幹線建設促進期成同盟会、中国横断新幹線整備促進協議会ほか各基本計画路線建設促進期成同盟会（全6団体）

〔共催〕山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議、中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議ほか各基本計画路線市町村会議（全4団体）

④参加者：約510名（主催等約480名・来賓（国会議員等）約30名）

〔主催〕佐藤大分県知事、平井知事（山陰新幹線建設促進期成同盟会代表世話人、中国横断新幹線整備促進協議会副会長）ほか各期成同盟会会長（各県知事等）

〔共催〕深澤鳥取市長（山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議会長）、上定松江市長（中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議会長）ほか各市町村会議会長（各市長）

〔来賓〕（国会議員）稲田朋美衆議院議員（自民党整備新幹線等鉄道調査会長）、石破茂衆議院議員、舞立昇治参議院議員、藤井一博参議院議員ほか各県選出国會議員

（国土交通省）佐々木紀副大臣、小林太郎鉄道局次長ほか（総務省）橋本憲次郎自治財政局官房審議官

（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構）藤田耕三理事長

第1回新幹線基本計画路線



(2) 主な発言

佐藤大分県知事 （発起人）	○基本路線について国において全く動きがない中、ともに声を上げることが重要。 ○全国知事会でも、国に新たな整備財源確保について提案し、国でも昨年11月から貸付料の議論を開始するなどの動きが見られる今こそ、基本計画路線の整備を国家プロジェクトとして進めるよう政府等に働きかけ、議論を加速する必要。
平井鳥取県知事	○山陰新幹線、中国横断新幹線は、昭和48年の基本計画決定後ずっと活動をやってきているが、1ミリも進んでいない。半世紀も待たされている。 ○今、貸付料の議論が起こるなど、今後の新幹線計画を進めるうえで重要な時期。地元も一生懸命やるので、国交省、国会議員の皆さま、よろしくお願ひしたい。
石破衆議院議員	○日本は令和の鉄道と明治の鉄道が混在。中国地方でも山陽は1日に100本新幹線が走行、山陰は特急が1日5本のみ。同じ日本なのか。 ○人口急減下で、新幹線をいかに早く、安く、地元負担少なく作っていくか。知恵と力を結集し、新しい日本の未来を開いていきたい。
稲田衆議院議員 （ビデオメッセージ）	○一昨年、北陸新幹線がようやく敦賀まで開業し、世界が変わった。新幹線整備のB/Cが高いことは明らか。 ○高市内閣の「責任ある積極財政」の中で、国土強靱化の実現のためにも全国新幹線ネットワーク整備は必要。整備新幹線だけでなく基本計画路線も一緒に進める必要。
佐々木 国土交通副大臣	○新幹線ネットワークは地方創生や国土強靱化の観点からも大変重要。 ○まずは整備計画路線の確実な整備を最優先に取組を進めているが、基本計画路線を含め幹線鉄道ネットワークについても、地域の実情を踏まえた方向性を検討するため、技術的課題の整理やケーススタディ等を進めたい。

(3) 要望時における相手方の主な発言 ※大会終了後、自民党、国土交通省、財務省に要望

鈴木 自民党幹事長	○未整備区間がまだ多く残されている。整備効果は大変大きいので、党としてもしっかり議論していく。
佐々木 国土交通副大臣	○国交省としては、これまで整備計画路線に目途をつけてからと言ってきたが、工夫しながら基本路線も進むようにしていかなければいけない。ケーススタディは大きな一歩。綱引きではなく議論をまとめてやっていくことが重要。

2 今後の対応

国において整備財源確保に向けた議論が進められるなど重要な時期に差しかかっているところから、引き続き全国の基本計画路線関係者との連携を密にし、山陰新幹線、中国横断新幹線の整備計画路線への早期格上げ等の実現に向けた活動を展開していく。

参考

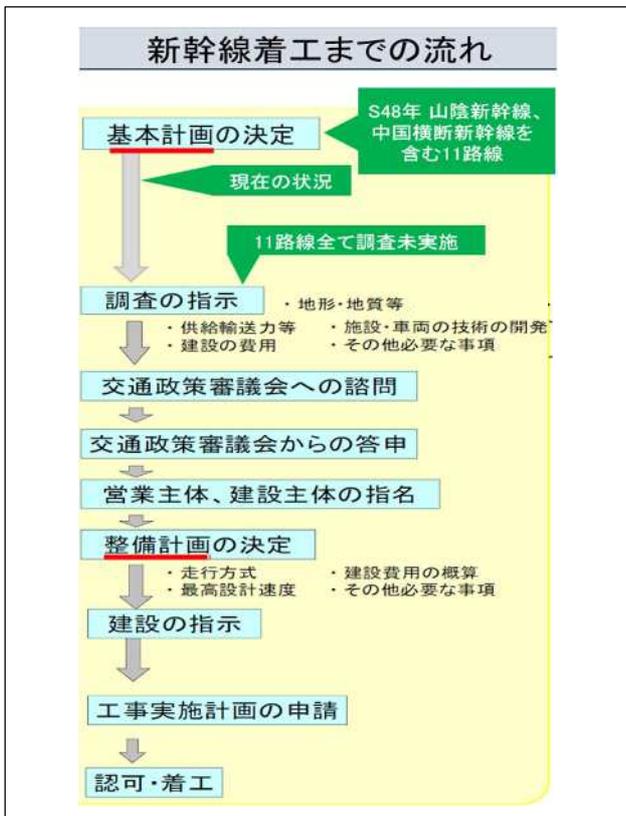
<基本計画路線> ※全国新幹線鉄道整備法に基づき決定

路線名	起点	終点	主要な経過地	計画決定時期
北海道新幹線（札幌・旭川間）	札幌市	旭川市		昭和47年11月13日
北海道南回り新幹線	長万部町	札幌市	室蘭市附近	昭和48年11月15日
羽越新幹線	富山市	青森市	新潟市附近、秋田市附近	昭和48年11月15日
奥羽新幹線	福島市	秋田市	山形市附近	昭和48年11月15日
北陸・中京新幹線	敦賀市	名古屋		昭和48年11月15日
山陰新幹線	大阪市	下関市	鳥取市附近、松江市附近	昭和48年11月15日
中国横断新幹線	岡山市	松江市		昭和48年11月15日
四国新幹線	大阪市	大分市	徳島市附近、高松市附近、松山市附近	昭和48年11月15日
四国横断新幹線	岡山市	高知市		昭和48年11月15日
東九州新幹線	福岡市	鹿児島市	大分市附近、宮崎市附近	昭和48年11月15日
九州横断新幹線	大分市	熊本市		昭和48年11月15日

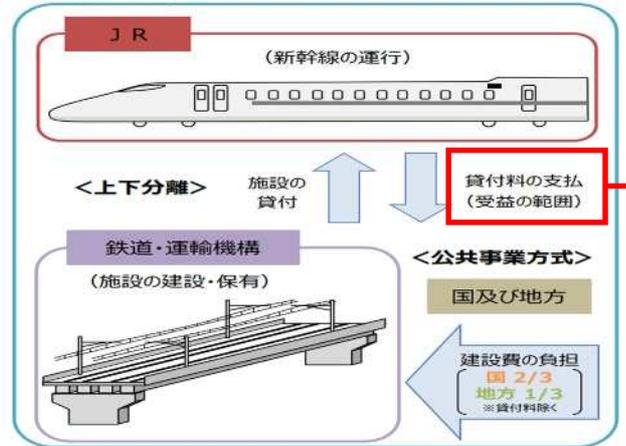
<整備計画路線> ※全国新幹線鉄道整備法に基づき決定、その後整備が進められている

路線名	起点	終点	備考
北海道新幹線	青森市	札幌市	青森～新函館北斗間 2016(H28)年3月一部開業
東北新幹線	盛岡市	青森市	2010(H22)年12月全線開業済
北陸新幹線	東京都	大阪市	東京～敦賀間 2024(R6)年3月一部開業
九州新幹線（鹿児島ルート）	福岡市	鹿児島市	2011(H23)年3月全線開業済
九州新幹線（西九州ルート）	福岡市	長崎市	武雄温泉～長崎間 2022(R4)年9月一部開業

<全国新幹線鉄道整備法による整備>



【整備方式】



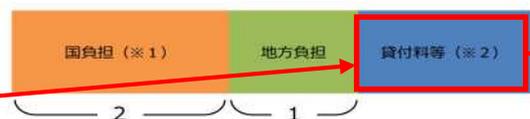
○着工5条件の確認

整備新幹線の着工に際しては、以下の条件を確認することとされている。

- ① 安定的な財源見通しの確保
- ② 収支採算性
- ③ 投資効果
- ④ J R の同意
- ⑤ 並行在来線の経営分離についての沿線自治体の同意

財源スキーム

全国新幹線鉄道整備法等の法令により、整備費については、貸付料等を除いた額について、国と地方で 2 : 1 で負担することとされている。



※1 国負担には公共事業関係費及び既設新幹線譲渡収入を含む。
 ※2 貸付料等には前倒し活用の借入金を含む。

- JR による貸付料支払は当該新幹線開業後 30 年間（鉄道・運輸機構法に基づく鉄道・運輸機構と JR 間の貸付協定）とされており、31 年目以降の取り扱いは決まっていない。※まずは北陸新幹線（高崎・長野間）において令和 9 年に支払期限が到来。
- 国は昨年 11 月に「今後の整備新幹線の貸付のあり方に関する小委員会」を設置し、貸付期間の延伸や貸付料の見直しに関する検討を開始（今夏頃とりまとめ予定）。

第 1 回新幹線基本計画路線全国総決起大会

【決議】

令和 8 年 (2026 年) 1 月 2 2 日

基本計画路線を含む全国の新幹線整備は、我が国の経済成長を牽引する地方の発展を支える基幹的な社会インフラであることに鑑み、その整備を加速させ、ヒトやモノの流動による産業の創出や新たな広域交流圏の形成、地方分散型の国土形成に大きく貢献し、強く豊かな日本列島を実現するため、一刻も早く、新幹線ネットワークを拡充する必要がある。

また、近年、豪雨災害をはじめ自然災害が頻発・激甚化し、南海トラフ地震などの大規模災害が危惧される中、リダンダンシー確保や国土強靱化の観点からも、新幹線整備による災害に強い国土づくりは喫緊の課題である。

基本計画路線は、昭和48年に「全国新幹線鉄道整備法」に基づいて決定されて以降、半世紀を超えて全く進展のない状況にある。その間、北陸や九州など、整備計画路線として先に開業した地域では確かな経済効果が認められており、整備済の地域とそうではない地域との間で歴然とした格差が生じている。

一方、近年、新幹線整備に関する国の当初予算は800億円程度にとどまっており、現行の予算額や財源スキームでは、整備計画路線の完成まで相当の期間を要するとともに、基本計画路線に関する議論も進展しないおそれがある。

特に、現行の財源スキームの一翼を担う貸付料収入については、一部区間が当初契約期間の30年を間もなく迎えるため、この機会を捉えて、将来的な新幹線整備や負担のあり方について、早急に検討を進めるべきである。

また、訪日外国人が急増しているが、新幹線沿線上のゴールデンルートに集中しており、新幹線等を活用した地方分散を進めていくため、観光基盤整備財源の拡充・利用も検討すべきである。

さらには、昨今の物価高による整備費用の上振れに伴い、地方公共団体における負担額の著しい増加が見込まれている。加えて、新幹線整備による地方負担が受益と見合っていないとの指摘もあり、現行の地方負担のあり方の見直しも求められている。

こうした中、国はシームレスな拠点連結型国土の構築に向けて、日本海側と太平洋側の二面を効果的に活用し、内陸部を含めた連結を強化した「全国的な回廊ネットワーク」の形成を打ち出しており、その実現に向けては、リニア中央新幹線開通により形成されるスーパー・メガリージョンと全国各地が新幹線ネットワーク等で結ばれることが必要不可欠である。

については、新幹線基本計画路線の一日も早い実現に向け、下記事項について、強く要望する。

記

- 1 二十一世紀半ばにおける我が国の高速輸送体系のあるべき姿を示すとともに、新幹線ネットワークの地方への拡充を国家プロジェクトとして明確に位置づけること
- 2 整備計画路線の未着工区間の見直しをつけることと並行して、基本計画路線に係る法定調査を早期に実施し、整備計画路線へ格上げすること
- 3 「着工5条件」の投資効果（B/C）について、社会的割引率を現行の4%から実態に即して見直すとともに、現在反映されていない誘発需要の創出効果や防災・減災効果等を適正に評価できる手法への見直しを早急に行うこと
- 4 将来的な新幹線整備に向けて、貸付料の徴収期間の延長や算定方法の適正化などの見直しを進めるとともに、新たな財源（国際観光旅客税、国土強靱化実施中期計画に係る予算など）の活用も含めた新幹線整備予算及び新幹線ネットワークと一体的に機能を発揮する幹線鉄道の高機能化予算の大幅な拡充を図ること
- 5 新幹線整備費用の縮減や並行在来線の経営分離方式の見直しを図るとともに、地方債の充当率や交付税措置率の引き上げなど、地方公共団体の財政負担の軽減を図ること
- 6 骨太の方針2026に「所要の財源を確保し、基本計画路線の建設に関し必要な調査を早期に実施するとともに、2020年代に整備計画路線への格上げを図る。」との文言を盛り込み、確実な進展を図ること

令和8年1月22日 第1回新幹線基本計画路線全国総決起大会

大会発起人（大分県知事） 佐藤樹一郎

主 催

羽越新幹線建設促進同盟会	会長（山形県知事）	吉村美栄子
奥羽新幹線建設促進同盟会	会長（山形県知事）	吉村美栄子
山陰新幹線建設促進期成同盟会	代表世話人（鳥取県知事）	平井 伸治
中国横断新幹線整備促進協議会	会長（岡山県知事）	伊原木隆太
四国新幹線整備促進期成会	会長（四国経済連合会会長）	長井 啓介
東九州新幹線鉄道建設促進期成会	会長（宮崎県知事）	河野 俊嗣

共 催

山陰縦貫超高速鉄道整備推進市町村会議	会長（鳥取市長）	深澤 義彦
中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議	会長（松江市長）	上定 昭仁
香川縣市町長四国新幹線整備促進期成会	会長（高松市長）	大西 秀人
宮崎県鉄道整備促進期成同盟会	会長（宮崎県知事）	河野 俊嗣
大分県東九州新幹線整備推進期成会	会長（大分県知事）	佐藤樹一郎

第7回鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議の開催結果について

令和8年2月25日
観光戦略課

官民が協働して県内サイクルツーリズムを推進するため、関係者が情報共有、意見交換等を行う「第7回鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議」を開催しましたので報告します。

- 1 日時** 令和8年1月28日（水）午後1時00分～午後1時50分
- 2 場所** とりぎん文化会館 第3会議室 ※オンライン併用のハイブリッド開催
- 3 出席者** 高橋 幸博氏（アドバイザー）、鳥取県商工会連合会、コグステーション皆生、鳥取県サイクリング協会、鳥取県自転車商協同組合、鳥取県観光連盟、西日本旅客鉄道（株）、国機関（鳥取河川国道事務所等）、17市町村、鳥取県 ほか 計34団体

4 概要

（1）鳥取うみなみロードの整備状況等の報告

- ・ナショナルサイクルルート(NCR)の走行環境の要件未達成(交通量1万台/日区間で路肩幅の整備困難)区間について、各市町村及び道路管理者とサブルートを設定し、令和8年3月末に整備完了予定である。また、本ルートにおける安全性確保に向けた走行環境の充実(路肩の確保等)を引き続き進めていく。
- ・スタートゴール地点にロゴマーク看板等の撮影スポットを設置したほか、令和8年3月末までに鳥取うみなみロード沿線3カ所にモニュメントを整備することで、滞在時間の延長や消費拡大を図っていく。
- ・サイクルツーリズムの推進及びNCR指定により稼げる地域を作っていくため、出席者に対してより一層の協力及び参画を依頼した。

（2）主な出席者の意見とその対応

主な意見	対応方針
NCR指定に向け、国内外への情報発信やサイクリストを受入れする民間事業者の役割がますます重要となるのでしっかり取り組んでほしい。	台湾や韓国の旅行社視察ツアーの受け入れ、民間の事業者が取り組むサイクリスト誘客等への支援などを検討しており、国内外へ本県のサイクルツーリズムの認知度向上・誘客促進を強化する。
サイクルツーリズムの定着のためには、地元の方に環境にやさしく、経済的で健康増進につながるなど、自転車の様々なメリットを知ってもらい、自転車への理解が必要。	来年度に新たに計画をしているサイクリング大会等の機会を通じて、県民へ自転車のメリット等の理解促進や普及促進の取組を強化する。
鳥取うみなみロードを安全で魅力あるルートとするため、路肩の確保等の本線整備を進めてもらいたい。	本ルートにおける安全性確保に向けた走行環境の充実(路肩の確保等)の調整を引き続き進める。
鳥取うみなみロードにおいて走行時トラブルがあった場合のサポート体制についての発信が必要。	公式サイトやSNS、コグステーション等を活用し、サイクルキャリア搭載UDタクシーや自転車店を紹介するなど、サイクリストのトラブル時のサポート体制を引き続き情報発信をしていく。

（3）その他、出席者の意見

- ・昨年から、韓国・台湾などからのレンタサイクル利用者が増えている。今後は、近距離だけではなく、鳥取うみなみロードについても県と連携して情報発信していきたい。
- ・西部圏域でのサイクリングツアーの定着化を図っていくとともに、県内事業者の売上収益向上につながる取組を推進していきたい。

夏季ダイヤにおける米子ソウル国際定期便の運航等について

令和8年2月25日
国際観光課

エアソウル株式会社が米子ソウル国際定期便の2026年夏季ダイヤ（3月29日～10月24日）スケジュールを公表し、週5便（月・水・木・金・日）となります。引き続き同社と連携しながらインバウンド・アウトバウンド対策を実施し、早期のデイリー運航復活を目指します。

また、旧正月にあわせ、定期便を活用した韓国大手旅行会社ロッテ観光による大型インバウンドツアーが実施されましたので次のとおり報告します。

1 米子ソウル便の夏季ダイヤスケジュール

【米子ソウル便の概要】

	現在	2026年夏季ダイヤ (3月29日～10月24日)
運航曜日	月・火・水・木・金・土・日（週7便）	月・水・木・金・日（週5便）
運航時間	仁川空港発 13:20 → 米子空港着 14:50 米子空港発 15:50 → 仁川空港着 17:40	仁川空港発 13:25 → 米子空港着 14:50 米子空港発 15:50 → 仁川空港着 17:45

※使用機材 A321-200 (195席)

※直近搭乗率 2026（令和8）年1月:90.9%、2025（令和7）年12月:91.3%、11月:89.8%、10月:87.1%

【今後のアウトバウンド利用促進】

- ・米子ソウル便を活用した第三国旅行プランのテレビ番組制作、web及びSNS発信の強化
- ・エアソウル山陰ファンクラブ会員向けQUOカードPay（3,000円）プレゼントキャンペーン
- ・近隣県（島根県東部、岡山県北部）への路線及び各種支援制度PR など

【今後のインバウンド利用促進】

- ・島根県との連携による山陰クーポンブックキャンペーン
- ・ゴルフ専門旅行社との商品販売連携強化
- ・韓国OTAと連携した県内宿泊施設割引キャンペーン など

2 韓国ロッテ観光による大型インバウンドツアー

(1) 販売数：2月13日（金）～16日（月）：60席

2月14日（土）～17日（火）：30席

2月15日（日）～18日（水）：194席（全席）

※いずれも3泊4日の商品

(2) 主な立寄観光地：鳥取砂丘、倉吉白壁土蔵群、鳥取県立美術館、燕趙園、青山剛昌ふるさと館、とっとり花回廊、水木しげるロード、皆生温泉、三朝温泉、はわい温泉

(3) 実施結果：販売284席中281名が搭乗（搭乗率98.9%）

(4) ツアー参加者の声：・山陰は初めて来た。鳥取砂丘が一番楽しみ。カニなどの食も楽しみたい。
・歓迎してくださって、地域の方の温かみを感じた。これからも頻繁に来たい。



米子鬼太郎空港でのお出迎えの様子

台湾での知事のトッププロモーション等について

令和8年2月25日
交流推進課

台湾・台北市内において、知事による鳥取和牛・日本酒の台湾トッププロモーションや、台湾メディア・旅行社への観光情報説明会など、観光、食の魅力発信やワールドマスターズゲームズ（以下、「WMG」という。）2027 関西のアピールを行いましたので報告します。

1 タイガーエア台湾 黄世恵（ファン・シーフェイ） 董事長との面談

- (1) 日時 2月9日（月）18時30分～45分
- (2) 場所 グランドヴィクトリアホテル4階会議ルーム
- (3) 出席者 タイガーエア台湾 黄世恵（ファン・シーフェイ） 董事長 ほか
- (4) 内容
 - ・知事から令和8年度の夏ダイヤの継続について、お礼を伝えるとともに、次期冬ダイヤ以降の継続運航及び増便について要請を行った。
 - ・黄世恵董事長からは、「今後も連携し台湾と鳥取県の交流が増えていくことを期待している。冬ダイヤ以降も継続して運航したい。機材繰りが整えば優先的に増便も進めたい。」との発言があった。
 - ・今後の安定運航、搭乗者数増加に向けて両者連携することに合意した。



黄世恵 董事長
との面談の様子

2 鳥取和牛・日本酒トップセールス

- (1) 日時 2月9日（月）18時45分～21時45分
- (2) 場所 グランドヴィクトリアホテル
- (3) 出席者 タイガーエア台湾 黄世恵（ファン・シーフェイ） 董事長、
軒榮科技股份有限公司（和牛輸入商社） 謝徳立（シェ・デリー） 董事長、
極品国際開発股份有限公司（ビクトリアホテル） 楊蕙靜（ヤン・イージン） 董事長婦人、
台湾メディア、台湾旅行会社（鳳凰旅行社、スタートラベル、旅游家ほか）、鳥取県観光大使等 21名
- (4) 内容
 - ・知事から、鳥取の食パラダイスと観光の魅力をアピールし、鳥取和牛のすばらしさや米子ー台北便の好調さについて強調し、鳥取への来訪を呼び掛けた。
 - ・鳥取和牛の輸入を行う謝董事長からも食パラダイス鳥取をPRいただき、参加者からは「これまで和牛の産地を指定していなかったが、今後は鳥取和牛を指定したい」などの発言があった。



鳥取和牛・日本酒
トップセールスの様子

3 台湾現地メディア取材

- (1) 日時 2月9日（月）19時15分～19時40分
- (2) 場所 グランドヴィクトリアホテル4階会議ルーム
- (3) 出席者 台湾メディア（7社7名）、インフルエンサー2名 計9名
- (4) 内容
 - ・知事から、米子ー台北便が搭乗率も安定し3月以降も継続して運航することや、「オニツカイノベーターファクトリー」の県内オープンなどの県内の最新情報を紹介した。
 - ・台湾メディアの質問を受け、鳥取県はWMG2027 関西の4競技（アーチェリー、自転車、柔道、グラウンド・ゴルフ）の会場であること、体力回復に最適な温泉地や、水木しげる記念館の新設や青山剛昌ふるさと館のリニューアルなどまんが王国が進化していることなどを紹介した。

4 在台湾競技団体へのWMG 2027 関西のアピール

- (1) 日時 2月9日（月）19時50分～20時10分
- (2) 場所 グランドヴィクトリアホテル4階会議ルーム
- (3) 出席者 台湾柔道協会 呂威震（ルー・ウェイジェン） 理事長
台湾グラウンド・ゴルフ協会 周建銓（ジョウ・ジェンション） 副理事長
台湾自転車協会 何麗卿（フェイ・リーチン） 秘書長
台湾アーチェリー協会 林政賢（リン・ジョンシェン） 秘書長
- (4) 内容
 - ・知事から、昨年5月のWMG2025 台北市・新北市大会成功のお祝いをお伝えするとともに、鳥取県の競技環境、温泉、食、観光など多様な魅力をアピール。来年5月に本県で開催されるWMG2027 関西4競技への多くの選手の方々の参加が実現できるよう協力と呼び掛けた。
 - ・各競技団体からは「ぜひとも参加したい。鳥取で世界の皆さんとスポーツを通じて触れ合うことが楽しみ」「競技が終わった後は温泉で疲れを癒したい」など多くの期待する声があがった。



在台湾競技団体との面談の様子

5 台湾外交部 林佳龍外交部長との面談

- (1) 日 時 2月10日(火) 8時40分～9時15分
(2) 場 所 台湾外交部外交部長応接室
(3) 出席者 台湾外交部：林 佳龍 (リン・ジャーロン) 外交部長 ほか
(4) 内 容

- ・林外交部長が台中市長在任中の2018年に台中市と鳥取県の関係を友好交流協定締結に導き、その後、米子ー台北便の就航や日台観光サミットの開催など、鳥取県と台湾との交流を大きく発展させたことに対し、知事から林外交部長に感謝状を贈呈した。
- ・林外交部長から、鳥取県における交流推進を高く評価する言葉があり、日台交流推進のリーダーシップに対する感謝の意を表した上で、知事へ外交の友貢献賞が授与された。
- ・知事は今後の交流促進や定期便増便に対する支援とWMG2027 関西での台湾からの訪問を働きかけた。



平井知事から林佳龍外交部長に感謝状を贈呈

6 片山和之 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所代表との面談

- (1) 日 時 2月10日(火) 10時～10時30分
(2) 場 所 日本台湾交流協会台北事務所
(3) 出席者 日本台湾交流協会台北事務所：片山和之 (かたやまかずゆき) 代表
(4) 内 容

- ・知事から、台湾と鳥取県との交流事業や昨年のWMG2025 台北市・新北市等での支援等に感謝し、観光物産交流や来年のWMG2027 関西への台湾からの参加促進を働きかけた。
- ・また、同事務所が実施する催しなどで本県プロモーションを行っていくなど、緊密に連携していくことで一致した。



平井知事と片山代表

7 台湾旅行社向け観光情報説明会

- (1) 日 時 2月10日(火) 10時45分～11時10分
(2) 場 所 台北市旅行商業同業組合 6階会議ルーム
(3) 出席者 台北市旅行商業同業組合 陳怡璇 (チェン・イーシュン) 理事長、徐銀樹 (シュ・インシュ) 顧問ほか
台北市内の旅行業協会と旅行会社 (50社50名)

- (4) 内 容
- ・知事から、昨年5月に就航した米子ー台北便を紹介し、鳥取砂丘や県内10カ所の温泉地、カニや鳥取和牛などの食、名探偵コナンゆかりの観光地などがあることに触れるとともに、WMG2027 関西が来年5月に鳥取県でも開催されることなどの最新情報を紹介し、本県へのツアー造成について呼びかけた。
 - ・参加した旅行会社からは「鳥取和牛や果物などの鳥取県のグルメは台湾の人にとって魅力的だ」「直行便が就航していると訪れやすくツアーを組みやすい」「旅行商業組合のメンバーで鳥取県に視察に行きたい」などの発言があった。



観光情報説明会での本県PRの様子

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和8年2月25日
交通政策課

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
交通政策課 (営繕課)	鳥取砂丘コナン空港国際 線ターミナル空調熱源機 器改修工事(機械設備)	鳥取市 湖山町西 四丁目	大和設備株式会社 代表取締役 古川 純一	(当初契約額) 121,000,000円	令和6年10月1日 ～ 令和8年1月30日	(当初契約年月日) 令和6年10月1日	-
				(第1回変更後契約額) 121,410,300円 (変更額) 〔 410,300円〕		(第1回変更契約年月日) 令和8年1月21日	・セキュリティフェンスの 形状変更による工事費 の増
交通政策課 (営繕課)	鳥取砂丘コナン空港国際 線ターミナル空調熱源機 器改修ほか工事(電気設 備)	鳥取市 湖山町西 四丁目	株式会社中電工 鳥取統括支社 執行役員支社長 徳永 健二郎	(当初契約額) 97,900,000円	令和6年10月1日 ～ 令和8年1月30日	(当初契約年月日) 令和6年10月1日	-
				(第1回変更後契約額) 99,134,200円 (変更額) 〔 1,234,200円〕		(第1回変更契約年月日) 令和8年1月21日	・発電機室給気ファンの 追加による工事費の増